



せいらん

令和元年 巻頭言

日本の、高齢化、少子化は確実に進み、2003年に100万人を超えた年間死亡者数は現在約130万人。出生数は約100万人弱なので、年30万人の自然減。今後、死亡者数は増え、2036-40年には死亡者が年間160万人、自然減の規模は年100万人程度で安定化する。人口が減り、経済活動は低下。高齢者が増え、疾病の罹患率が増え、一方、費用負担をする世代が減少する。そこで、外国から労働者を受け入れ、インバウンドで経済活動を維持するしかなくなる。精神医療は、病床を減らし、訪問診療など地域での医療支援を拡充し、訪問看護ステーションの大規模化が行われている、24時間対応、管理、研修などを安定して行い質の高いサービスを提供するには小規模では困難である。H30年度からの第7次医療計画には、改正精神保健福祉法に基づく「良質かつ適切な精神障害者に対する医療の提供を確保するための指針」(H26年3月)に位置づけられる①児童・思春期精神疾患、②老年期精神障害等、③自殺対策、④

依存症、⑤てんかん、⑥高次脳機能障害、⑦摂食障害に対応できるようにする必要があるとされる。

当院はこれまで、地域支援機能強化の方針に基づき、サテライトクリニック、グループホームを設置、デイケアを拡充した。また、H28年度に、訪問看護ステーションを設置し、スタッフを増員している。連携して、地域生活支援にあたる体制を取っている。一方病棟は、救急対応や多種の疾患に安全で、有効な、接遇に配慮された治療対応をする体制が求められる。十分なマンパワーを確保するために、病棟の機能分化が必要である。青年期から退行期までの、うつ病・神経症や、統合失調症、児童・青年期の発達障害などに対し、医師、看護師、薬剤師、作業療法士、精神保健福祉士、公認心理師などの多職種が連携し心理・社会的アプローチ含めた多面的対応を行っている。

医療法人サチカム会 理事長
同 三国丘こころのクリニック 院長
奥野正景 (おくの まさかげ)



●病院理念●

「誠意ある明るく開かれたこころの医療」

●基本方針●

1. 患者様の人権を尊重した誠実な態度（患者中心、主体、人権、倫理）
2. 安全で安心できる医療（医療の質、安全、安心）
3. 研鑽に励み、質の高いチーム医療（信頼、倫理）
4. 説明と同意に基づく信頼される開放的な医療（自由、開示性、インフォームドコンセント）
5. 専門知識を活かした地域の精神保健福祉への貢献（地域社会、精神保健福祉）

●看護部理念●

私達は常に患者様とそのご家族の立場に立って考え、その人にとって最良の看護が提供出来るように誠意と愛情のこもった看護を目指します。



平成31年新年度

ペアレント・トレーニング

実施クール
増やしました

●発達障害を持つ子どもの親御さん方を対象としたグループプログラムです。子どもへの関わり方を親が習得し、学んだことをホームワークとして日常実践することで、子どもの行動変化を促進させることがねらいです。平成22年から実施しています。

●担当：臨床心理士1名（公認心理師、ペアレントトレーニング研修受講者）



●参加者：発達障害を持つ子ども（小学生）の親御さん方。1グループ数名程度です。

●毎月1回90分程度、全6回、半年間で1クールです。

●今年度より、年4クール実施することにしました。



ユニ フォーム 新しく しました

従来の白一色のものから、昨年より、一新しました。意見聞き取りや衣装合わせの末、看護師はインディゴブルー、看護補助者はボルドーレッドに決まりました。患者さんにも好評です。

患者さんの権利に関する宣言

私たちは、誠意あるこころの医療を推進するため、ここに「患者さんの権利に関する宣言」を定め、年齢に関係なく、入院・通院中の全ての患者さん下記の権利があることを明らかにし、これを守ることを宣言します。 2016.3.1

- 人格を尊重される権利：**
常に、人間として個人としての尊厳を守られる権利があります。
- 守られる権利：**
あらゆる暴力や虐待、無視、放置、押取などを受けない権利があり、それらから守られる権利があります。
- 治療に参加する権利：**
自分の治療計画を立てる過程に参加し、自分の意見を表明し、自分で選択・決定する権利があります。自分で決定することが難しいときには、決定できるように援助を受ける権利があります。
- 十分な説明を受ける権利：**
自分が受ける治療について、理解できるように説明を受ける権利があります。絵や図、文書などを用いた、より分かりやすい説明を受ける権利もあります。
- 適切な治療や療養を受ける権利：**
個々の状態に応じた、適切な治療・対応を受ける権利があります。また、できる限り開放的な、明るく、清潔な、落ちつける環境で療養を受ける権利があります。
- プライバシーを守られる権利：**
診療の過程で得られた個人情報及びプライバシーは、その秘密が守られます。
- 情報を知る権利：**
カルテ等の診療情報の開示を求める権利があります。また、セカンドオピニオンを求めることができます。
- 地域生活への移行を支援される権利：**
退院して地域生活に戻ることを想定した治療計画が立てられ、それに基づき治療や福祉サービスを受ける権利があります。
- 選べる・罰金を自由に行える権利：**
入院中であっても、正当な理由がない限り、通院や面会の制限はされません。
- 退院請求を行う権利、及び治療・対応に対する不服申立てをする権利：**
これらの権利を行使できるようサポートを受ける権利もあります。
また、これらの請求や申立てをしたことにより不利に扱われない権利もあります。

この権利宣言は、「入院中の精神障害者の権利に関する宣言」（大阪府精神保健福祉審議会 2000年5月19日）をもとに、当院の特性を反映して作成されました。

一昨年、患者さんの権利宣言を改訂しました。「大阪府精神保健福祉審議会」によるものを援用していましたが、当院オリジナルの内容を反映させました。前文に病院理念を入れ、児童の診療をしているところから「年齢に関係なく」権利のあることを明らかにし、「虐待」に関する文言を入れしました。発達障害の患者さんも多いことから、説明を受ける権利では、「絵や図、文書などを用いた分かりやすい説明」と入れました。

入院案内

他の医療機関や診療所の先生方から、三国丘病院への紹介入院の流れについて、お問い合わせが時折あります。なかには「紹介する患者さんへ説明してあげたい」というお声もあり、この場を借りてご案内いたします。

- ① 電話：
まずお電話ください。
☎ 072-233-1880
精神保健福祉士ないし外来看護師が対応します。
- ② 当院での対応が可能かどうか、お話を伺います。その上で、ご来院の日時を決めさせていただきます。
- ③ 空床状況確認など、お時間をいただく場合には、こちらから折り返しご連絡差し上げます。

④ 受付：必ず保険証・医療受給者証等ご持参ください。受付にて新規登録いたします。紹介状も受付にお渡しください。

⑤ 予診：診察前に、担当の精神保健福祉士が経緯や症状等をお伺いします。

⑥ 診察：予診内容の確認、診断、治療の方向性、当院での対応の可否、入院の説明などを含めて診察いたします。入院に不安のある方は、病室の見学もできます。

⑦ 入院：入院決定ののち、手続きとなります。その後病室までご案内いたします。

●入院時にご用意いただくもの：印鑑、衣類（普段着、下着類）、洗面・洗髪道具（洗面具、歯ブラシ等）、日用品（タオル、ティッシュ等）、他。その他持ち物、費用に関しては手続き担当者にお尋ねください。●刃物、危険物等、病棟に持ち込みできないものがあります。●当院は全館禁煙です。●携帯電話は、院内規則を守っていただければご使用いただけます（同意書必要）。

外来案内

Information & Guidance

◆平成31年4月1日より

	月	火	水	木	金	土
午前	2診	齊藤☆	河口☆	菅谷☆	菅谷☆	千頭☆
	3診	楠部☆☆	千頭☆	桑村☆	齊藤☆ 担当医☆	村田☆
午後	2診	千頭☆	原口	桑村☆	原口☆	河口
	3診	原口	—	村田☆	辻☆	浅田☆

☆: 予約診察。予約は外来看護窓口でお取り下さい。
 *: 薬のみ診察の方。1時間ほどで第2診察室に切り替わります。
 (月) 午前第3診察室は1時間程度お薬の後、
 予約診察に切り替わります。

◇担当医が変更になることがあります。事前にお問い合わせください。

◇児童精神科外来: すべて予約制

(月) 午前 第3診察室
 (金) 午後 第3診察室
 (土) 午後 第3診察室

【診察時間】 (月)～(土) 午前9:00～12:00(受付は 8:00～11:00)
 午後2:00～5:00(受付は 12:00～3:30)

【休診日】 日曜、祝日、年末年始(12/29午後～1/3)、創立記念日(1/4)

- 診療科目 精神科・心療内科・神経内科・児童精神科
- 開設者 理事長 奥野 正景
- 管理者 院長 河口 剛
- 精神科病床 144床
 - 昭和36年開設 ●精神科病床15対1
 - 看護師比率70% ●看護補助加算1
- 届出・承認・併設施設等
 - ・医療保護入院等診察料
 - ・薬剤管理指導料 ・医療安全対策加算2
 - ・精神科地域移行実施加算
 - ・精神科デイケア/ショートケア(大規模) デイケア『けやき』 ・精神科作業療法
- ◆
 - ・付属診療所: 三国丘こころのクリニックー児童精神科・精神科・心療内科[院長 奥野 正景]
 - 併設: 子どもショートケア「和ーなごみ」
 - ・共同生活援助グループホームえびす
 - ・三国丘こころのケアセンター (地域生活支援部門/心理相談部門)
 - ・けやき訪問看護ステーション
- ◆
 - ・臨床研修病院(協力型)
 - ・清恵会医療専門学院看護学科実習施設
 - ・(財)日本医療機能評価機構 病院機能評価認定病院
 - ・新専門医制度研修群プログラム連携施設
- 地域精神保健活動 等
 - 堺市: 子ども相談所非常勤医師、教育センター嘱託医、就学指導委員会委員、学校協力医、堺市嘱託産業医、医師会精神科医会・校医会理事
 - 大阪市: 精神保健福祉審議会委員、心身障害者リハビリテーションセンター非常勤医師
 - 大阪府: 府立堺支援学校・堺聴覚支援学校校医、堺地域産業保健センターメンタルヘルス相談員、障害者職業センター南大阪支所医療助言者
 - その他: 近畿大学医学部非常勤講師、近畿児童青年精神保健懇話会代表世話人、日本児童精神科・診療所連絡協議会理事、日本心身医学会代議員、日本児童青年精神医学会代議員・理事

Access & Map

病院案内

〒590-0027 大阪府堺市堺区榎元町1丁5番1号

TEL 072-233-1880

FAX 072-222-1709

URL <http://www.mikunihill-hp.or.jp/>

- 南海高野線 堺東駅下車
東出口より、南東へ徒歩約5分。
- 駐車スペースが非常に少ないため、できるだけ電車等の公共交通機関をご利用ください。

